

日本災害看護学会東日本大震災プロジェクト報告

1. 仮設住宅で暮らす高齢者の健康支援・交流支援

1) 日程

平成24年2月18日(土) 12:00~15:00

2月19日(日) 9:30~11:30

平成24年3月24日(土) 13:00~15:00

3月25日(日) 9:30~11:30

平成24年4月14日(土) 13:00~15:00

4月15日(日) 9:30~11:30

平成24年5月26日(土) 13:00~15:00

5月27日(日) 9:30~11:30

平成24年6月16日(土) 13:00~15:00

6月17日(日) 9:30~11:30

平成24年7月14日(土) 13:00~15:00

7月15日(日) 10:00~14:00 夏まつりを企画中

2) 活動内容

土曜日 交流支援(民話、民謡、踊り) 健康相談

日曜日 交流支援(ゆび編み、おしゃべり) 健康相談

3) 場所

南三陸町平成の森交流サロン、戸倉交流サロン

4) 参加人数

延べ 203名 (4月15日現在)

5) 参加者の状況と今後の課題

本活動は平成23年8月より定期的に継続している。笑いが絶えず、毎回楽しみにしているという声が多い。後期高齢者が大半で、杖やシルバーカーを使用し、立ち上がりが困難なため、殆どの方が椅子を好む。健康相談では、血圧を測定しながら生活や健康に関する話を聞いているが、仮設住宅では身体を動かすことが少なく、また何もしていないでいると気が滅入るという声が多い。町の調査では、高齢者の40%に生活機能の低下が認められた。3月に行ったアンケートでも40%がまあまあ健康と答えており、生活不活発病予防の視点で活動を継続しながら個々の健康課題に対応した支援につなげていく必要がある。

以上、文責 高橋由美